

服飾造形・実習Ⅲ

坂口 英明・仙木 沙紀

高度アパレル専門科 3年 通年 必修 (演習/実習・実技)

◆授業の方針・概要

1年次2年次で学んできた造形に対する知識やテクニックを発展させて、自分のテーマやコンセプトに基づいたオリジナリティのある作品の制作。テーマ、コンセプトを考えることからはじめ、それに沿ったデザイン、素材の決定、パターン、縫製などを学んでいく。次年度に控えた就職活動を意識した服作りを心がける。様々なコンテストにも挑戦し、感性や技術の向上を目指す。また、前期は平行してブティック社の『乙女のソーイングブック』の作品をグループワークで制作する。

◆到達目標 (学修成果)

オリジナリティを追求し、身につけた技術で表現力のある服を作る。

◆卒業認定の方針と該当授業科目の関連

卒業のために必要な科目。オリジナリティのある作品をテーマ、コンセプトに基づき制作することは、将来、アパレル企業等で働く上で必要な発想力とまとめ上げる力を身につける。

◆授業計画

回数	授業内容		準備学修	
			具体的内容(予習・復習等)	必要時間(分)
1週	クリエイションのあるデザイン制作 テーマ・コンセプト・デザイン決定	グループ制作 乙女のソーイングブック	予習：デザインを考える 復習：進められるところまで進めておく	30
2週	パターンメイキング	デザイン決定	予習：デザインにあった基本のパターンを探す 復習：進められるところまで進めておく	30
3週	〃	技法の研究	復習：パターンの見直し 復習：進められるところまで進めておく	30
4週	トワル制作・仮縫い・素材の決定	パターンメイキング	予習：生地を探す 復習：出来上がった形の整理	120
5週	〃	トワル制作	予習：生地を探す 復習：進められるところまで進めておく	120
6週	修正・裁断	ブティック社 トワル仮縫い	予習：地直しをしておく 復習：進められるところまで進めておく	30
7週	実物仮縫い・修正	修正	予習：仮縫い準備 復習：進められるところまで進めておく	60
8週	縫製	サンプル作成	予習：必要な材料を揃える 復習：進められるところまで進めておく	30
9週	〃	実物制作	予習：できるところまで縫う 復習：出来上がった形の整理	30
10週	〃	〃	予習：できるところまで縫う 予習：縫製行程を考えておく	30
11週	〃	〃	復習：仕上げ前まで縫う 予習：縫製に必要な材料の準備	30
12週	仕上げ・コーディネート ・ポートフォリオの作成	〃	予習：コーディネートの考案 ポートフォリオ準備 予習：できるところまで縫う	120
13週	プレゼン	乙女仕上げ	予習：プレゼン準備 予習：できるところまで縫う	60
14週	自由制作またはコンテスト作品制作	乙女 撮影	予習：デザインを考える 予習：できるところまで縫う	30
15週	〃		予習：必要な材料を揃える 予習：できるところまで縫う	30
16週	〃		予習：できるところまで縫う 復習：出来上がりの確認	30
17週	〃		復習：仕上げ前まで縫う 予習：縫製行程を考えておく	60
18週	修了制作4体 テーマ・コンセプト ・デザイン決定		予習：デザイン資料を集める 予習：縫製に必要な材料の準備	30
19週	パターンメイキング		予習：デザインにあった 基本のパターンを探す 予習：できるところまで縫う	30
20週	〃		復習：パターンの見直し 予習：できるところまで縫う	30
21週	トワル制作・仮縫い・素材の決定		予習：生地を探す 予習：できるところまで縫う	120
22週	〃		復習：トワルの修正箇所確認 予習：できるところまで縫う	30
23週	修正・裁断・実物仮縫い・修正		予習：地直しをしておく 予習：できるところまで縫う	60
24週	〃		復習：修正箇所を直す 予習：できるところまで縫う	30
25週	縫製		予習：必要な材料を揃える 予習：できるところまで縫う	30

【1】

26週	〃		予習：できるところまで縫う 復習：出来上がりの確認	60
27週	〃		予習：できるところまで縫う	60
28週	〃		復習：仕上げまで縫う	60
29週	仕上げ・コーディネート・ポートフォリオの作成		予習：コーディネートの考案 ポートフォリオ準備	120
30週	プレゼン		予習：プレゼン準備	30

◆フィードバックの方法

課題提出物返却時に講評をする。

◆成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
試験	—
課題	70%
検定試験結果	—
企業評価（インターシップ）	—

◆教科書

必要に応じて資料を配布。

◆参考文献

ドレメ式原型、PATTERN MAKING I II、SEWING I II III IV、PATTERNBOOK

◆オフィスアワー

毎週：月曜日（16時00分～17時00分）5301教室（第5校舎3階）

◆備考

授業内容は変更することもある。

クリエイティブデザインⅢ

渡邊 千佳子

高度アパレル専門科3年 通年 必修 (実習・実技)

◆授業の方針・概要

クリエイティブデザインⅠ・Ⅱで学んだ基礎デザインを基に応用力を養いながら、各自の研究テーマや個性を活かすクリエイション指導を行う。あらゆるものから実践的にクリエイションを形にしていく。様々な情報や市場調査、美術館の鑑賞などを通して視野を広げ、独自の世界観を確立させていく。

◆到達目標（学修成果）

様々なテーマによるデザイン考案を繰り返す事で創造性及び企画力を身に付ける。

◆卒業認定の方針と該当授業科目の関連

卒業のために必要な科目である。服飾造形Ⅲと連携しクリエイション力を伸ばす。

◆授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間(分)
1回	ブティック社産学連携 乙女のソーイングブックデザイン	復習：プロポーション	30分
2回	乙女 デザインまとめ	予習：図書館	60分
3回	乙女 製図 YKK コンテストデザイン画①	予習：テーマ探し	30分
4回	乙女 " " ②	"	30分
5回	乙女 "	予習：乙女製図	60分
6回	乙女 トワル	復習： "	30分
7回	乙女 "	予習：乙女トワル作成	30分
8回	乙女 仮縫い		30分
9回	乙女 パターン作成	予習：乙女 パターン	30分
10回	乙女 生地裁断		30分
11回	乙女 本縫い	予習：乙女 本縫い	60分
12回	乙女 "	"	30分
13回	乙女 "	"	30分
14回	アクセサリー制作 ①ピアスまたはイヤリング	予習：市場調査	30分
15回	" ②ネックレスとブレスレット	予習：リサーチ	30分
16回	" ③自由		30分
17回	ファッション画コンテストのデザイン画①	予習：図書館	30分
18回	" ②	予習： "	30分
19回	修了制作 デザイン考案①	予習：リサーチ	30分
20回	" ②	予習：市場調査	30分
21回	" ③	"	30分
22回	" ④	"	30分
23回	ペーパークラフトによるデザイン①	予習：図書館	30分
24回	" ②	予習： "	30分
25回	オブティカルアートからのデザイン①	復習：検索	30分
26回	" ②	予習：図書館	30分
27回	ディテールのデザイン ①	予習： "	30分
28回	" ②	"	30分
29回	" ③	"	30分
30回	まとめ	復習：ファイリング	30分

◆フィードバックの方法

下書きの段階で一度チェックし、着色方法、タッチなどその都度点検する、作品返却時に講評する。

◆成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
試験	—
課題	70%
検定試験結果	—
企業評価(インターシップ)	—

◆教科書

ファッション画法（渡辺波江、肉丸美香子著）

◆参考文献

最新のファッション雑誌

◆オフィスアワー

毎週：月曜日（15：45～16：45）5302 教室（第5校舎3階）

◆備考 授業内容は変更することもある。

ファブリックデザインⅠ

赤澤 結花

高度アパレル専門科 3年 年間 20回 必修 (実習・実技)

◆授業の方針・概要

ファブリックデザインを通して、自由な発想を広げクリエイションを育てる。

はじめにファブリックをデザインすることについて学び、サンプル製作を繰り返すことで実物のイメージを膨らませ、完成度の高い作品制作を目指す。また、応用範囲の広いテクニックとして、ファブリックマニピュレーションやビーズ織、フッキングなどのテクニックを学ぶ。自由制作では表現方法のひとつとして織物も取入れていく。

◆到達目標 (学修成果)

テキスタイルファブリックの様々なテクニックを知ること、クリエイションの幅を広げる。

◆卒業認定の方針と該当授業科目の関連

卒業のために必要な科目。発想力を養うことに役立つ。

◆授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間(分)
1回	ファブリックマニピュレーション	復習：仕上げる	30
2回	ファブリックデザインⅠ 考案	予習：デザイン資料を集める	30
3回	” イメージマップの製作	予習：材料の準備	30
4回	” サンプル製作	復習：できるところまで進める	30
5回	” サンプル製作	復習：できるところまで進める	30
6回	” 実物製作	復習：できるところまで進める	30
7回	” 実物製作	復習：できるところまで進める	30
8回	” 実物製作	復習：できるところまで進める	30
9回	” 実物製作	復習：できるところまで進める	30
10回	” 実物製作	復習：できるところまで進める	30
11回	ビーズ織 サンプル製作	予習：サンプルを仕上げる	30
12回	” 実物製作	復習：できるところまで進める	30
13回	” 実物製作	復習：できるところまで進める	30
14回	” 実物製作	復習：できるところまで進める	30
15回	” 実物製作	復習：仕上げ	30
16回	フック デザイン考案 デザインを布に描く 木枠に布を張る	予習：デザイン資料を集める	30
17回	” 実物製作	予習：糸の購入	30
18回	” 実物製作	復習：できるところまで進める	30
19回	” 実物製作	復習：できるところまで進める	30
20回	” 実物製作	復習：できるところまで進める	30
21回	自由制作 (織物) 考案	予習：デザイン資料を集める	30
22回	” サンプル製作	復習：できるところまで進める	30
23回	” サンプル製作	復習：できるところまで進める	30
24回	” 実物製作	復習：できるところまで進める	30
25回	” 実物製作	復習：できるところまで進める	30
26回	” 実物製作	復習：できるところまで進める	30
27回	” 実物製作	復習：できるところまで進める	30
28回	” 実物製作	復習：できるところまで進める	30
29回	” 実物製作	復習：できるところまで進める	30
30回	” 仕上げ	予習：提出準備	30

◆フィードバックの方法

課題提出物の返却時に講評する。

◆成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
試験	—
課題	70%
検定試験結果	—
企業評価 (インターシップ)	—

◆教科書

プリントの配布

◆参考文献

なし

◆オフィスアワー

毎週：月曜日 (16時00分～17時00分) 5301教室 (第5校舎3階)

◆備考

授業内容は変更することもある。

ダイニングデザインⅠ

鎌田 美恵

高度アパレル専門科3年 年間10回 必修 (実習・実技)

◆授業の方針・概要

染色の基本に基づいたワークショップなどを指導してきた授業担当者の経験を活かし、前年度に学んだ染色の基礎知識を踏まえて服飾造形に活かせる技法を修得する。2年生ではグループワークが多かったが、3年生では個々に作業を進めレベルアップした作品を制作していく。

1 作品目は手描き友禅染めで絹布を染める。この技法は工程が多く複雑で、デザインにより工程の違いや進度の差が出てくる。自分でしっかりとした計画を立て、正確で丁寧な作業を行い技法の特徴を捉えた作品作りを行う。2 作品目は板締め絞を実習する。基本の畳み方を基にして板の配置などを工夫し幾何学模様の作品を染色する。3 作品目はマーブル染を行う。偶然にできる色と形の面白さのある染法であるが、滴下や模様付けの方法をリサーチし理解してテーマを決める。それに基づいた配色や模様を考え試染し、本染めではよりイメージに近い作品を制作する。

◆到達目標 (学修成果)

染色技法をよく理解し、ポイントを捉えたデザインでオリジナルな作品の発想を追求する。この授業で得た染色の知識によりさらに創造や表現の幅が広がり、これからの服飾造形の制作に活かすことができるようになる。

◆卒業認定の方針と該当授業科目の関連

必修科目のため卒業に必要な科目である。さらに染色の知識・技法を修得し作品制作に繋げる。

◆授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間(分)
1回	手描き友禅染	図案考案 図案作成	復習：図案作成 30
2回		下絵付け 糊置き(糸目糊)	復習：作業の確認 15
3回		糊置き(糸目糊) 霧吹き 地入れ	復習：作業の確認 15
4回		色挿し	予習：色彩計画 30
5回		糊置き(伏せ糊) 地入れ	復習：作業の確認 15
6回		地染め 蒸熱	復習：作業の確認 15
7回		水洗 乾燥	復習：レポート作成 30
8回	板締め絞	基本の畳み方練習 染色	復習：作業の確認 15
9回	マーブル染	試染	予習：染色方法調査・配色検討 30
10回		本染色	予習：作業の確認 15

◆フィードバック方法

課題作品は評価した後、速やかに後日返却する。

◆成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
試験	—
課題	70%
検定試験結果	—
企業評価 (インターンシップ)	—

◆教科書

なし

◆参考文献

新版 染色加工学 越川寿一編 酒井書店・育英堂
染色の基礎知識 合成染料の技法 染織と生活社

◆オフィスアワー

授業終了後、質問などに対応いたします。

◆備考

授業内容は変更することがある。

ドローイングアドバンス

杉山 尚子

高度アパレル専門科 3年 / アパレルデザイン科 年間 25回 必修 (講義 / 実習・実技)

◆授業の方針・概要

ドローイングはファッションデザインの要となる技術であり、イメージを可視化して他者に伝える手段である。服飾デザインの基本となる人体を中心に授業を行い、美術解剖学の授業と関連づけて人体の形と構造を把握することでデザインにいかしていく。描画技術の向上だけでなく、オブジェ制作など多角的なアプローチでオリジナリティーのある創造的な表現への発展をはかる。

◆到達目標 (学修成果)

見る力と描写力を鍛えることで、形を構造的に捉え、的確に描出することができるようになる。

◆卒業認定の方針と該当授業科目の関連

卒業に必要な科目。表現者としてのデザイナーに必要なイメージ発想の求め方と展開、具現化がその後の作品制作に重要である。

◆授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間(分)
1回	授業の説明 素描、描画用具の説明 石膏デッサン 1	予習：画材の準備	15分
2回	石膏デッサン 2	復習：作業の確認	10分
3回	石膏デッサン 3	復習：作業の確認	10分
4回	石膏デッサン 4	復習：作業の確認	10分
5回	石膏デッサン 5	復習：作業の確認	10分
6回	人体クロッキー	予習：画材の準備	10分
7回	人体クロッキー	予習：画材の準備	10分
8回	人体デッサン 1	予習：画材の準備	10分
9回	人体デッサン 2	復習：作業の確認	15分
10回	人体クロッキー	予習：画材の準備	10分
11回	フロッターージュ 1	予習：画材の準備	10分
12回	フロッターージュ 2	復習：作業の確認	10分
13回	質感の表現 1	予習：画材の準備	10分
14回	質感の表現 2 有機的な形 / 植物	復習：作業の確認	10分
15回	有機的な形 / 植物	予習：画材の準備	10分
16回	自画像 / 顔と手 1	予習：制作の考察	15分
17回	自画像 / 顔と手 2	復習：自画像の考察	10分
18回	立体造形とドローイング 1	予習：材料の準備	10分
19回	立体造形とドローイング 2	予習：制作の考察	20分
20回	立体造形とドローイング 3	復習：作業の確認	10分
21回	立体造形とドローイング 4	復習：作業の確認	10分
22回	立体造形とドローイング 5	復習：作業の確認	10分
23回	学生クロッキー	予習：画材の準備	10分
24回	石膏と布 1	予習：画材の準備	15分
25回	石膏と布 2 / 作品展の展示作業	予習：展示作品の準備	15分

◆フィードバックの方法

前期に講評 1 回、後期にギャラリーU で作品展をひらく
作品は採点后、前後期とも期末に返却する

◆成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
試験	—
課題	70%
検定試験結果	—
企業計画 (インターシップ)	—

◆教科書

なし

◆参考文献

なし

オフィスアワー

授業終了後、実習室で質問等に対応する

◆備考

授業内容は変更することもある

美術解剖学

杉山 尚子

高度アパレル専門科3年／アパレルデザイン科3年 年間5回 必修（演習）

◆授業の方針・概要

美術解剖学はデザイナーや美術家のように、人体に関わる造形にたずさわる者に必要な知識である。人体の外形と内部の構造を知ることによって表に現れてくる形や機能、動きを認識し、人体の形とその造形表現について学ぶ。美の基準の時代や民族による相違や人体のプロポーションについて、古今東西の美術作品にあらわされた人体表現を、画像や図版を使って学習する。ドローイングアドバンスの授業と平行して進めることで、ドローイング及びデザインの実制作にいかすことを目指す。

◆到達目標（学修成果）

人体をより正確に理解し描くことができるようになり、人の動きによる形の変化を意識したデザインを考案できるようになる。

◆卒業認定の方針と該当授業科目の関連

卒業に必要な科目。卒業後、実際の人の動きと形に則したデザインをすることに役立つ。服を作っていく上で重要な人間と衣服と美についてのヴィジョンの考察、美術の知識を深める。

◆授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間(分)
1回	概要 人体比例 年齢による相違点他	予習：筆記具の準備	10分
2回	頭部、頸部 性差、年齢差による表現	復習：プリントの確認	10分
3回	体幹 形、運動による変化	復習：プリントの確認	10分
4回	体肢 東洋と西洋の表現	復習：プリントの確認	10分
5回	対称、非対称 美術作品に見る表現例	復習：プリントの確認	10分

◆フィードバックの方法

レポートは採点后、前期終了前に返却する

◆成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
試験	—
課題	70%
検定試験結果	—
企業計画（インターシップ）	—

◆教科書

なし

◆参考文献

新編「美術解剖学図譜」東京藝術大学美術解剖学教室 編 日本出版サービス刊
「生体の観察」中尾喜保著 メヂカルフレンド社刊

◆オフィスアワー

授業終了後、教室で質問等に対応する

◆備考

授業内容は変更することもある

アパレルCGⅢ

多田 純子

高度アパレル専門科3年 通年 必修 (実習・実技)

◆授業の方針・概要

マーチャンダイザー、ブランドディレクターとしての実務経験を活かし、時代と共に変化していくファッションビジネスを広い視野で多角的に捉え、収集した情報をからマーケティング・企画・販売へと連動させた企画書作りを行う。自分の中にあるイメージを効果的に具現化し、トータルプランニングしていく能力をさらに向上させていく。

◆到達目標（学修成果）

これまで学んできた Illustrator と Photoshop のスキルに加え、自らの感性を活かしながら、オリジナルブランドの企画を通じて効果的な表現方法を身につけることを目標とする。

◆卒業認定の方針と該当授業科目の関連

卒業のために必要な科目。Illustrator と Photoshop を効果的に使いこなし、業務をスムーズに進行するためのスキルが身に付く。

◆授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間(分)
1回	オリエンテーション / 自己紹介等	好きなブランド仕事にしたいブランド、社会情勢	予習：ブランドリサーチ 10分
2回	ブランドリサーチ	異業種のクリエイティブ等、ディスカッション	予習：ブランドリサーチ 10分
3回	イメージビジュアル作成1	フリー素材の収集、デザインレイアウト	予習：ブランドリサーチ 10分
4回	イメージビジュアル作成2	フリー素材の収集、デザインレイアウト	予習：ブランドリサーチ 10分
5回	ライフスタイルマップ作成1	フリー素材の収集、デザインレイアウト	予習：ブランドリサーチ 10分
6回	ライフスタイルマップ作成2	フリー素材の収集、デザインレイアウト	予習：ブランドリサーチ 10分
7回	ブランディング資料作成	デザインレイアウト	予習：ブランドリサーチ 10分
8回	ブランディング資料作成	デザインレイアウト	復習：データ確認・整理 10分
9回	ブランディング資料作成	デザインレイアウト	復習：データ確認・整理 10分
10回	ブランディング資料作成	デザインレイアウト	復習：データ確認・整理 10分
11回	ブランディング資料作成	デザインレイアウト	復習：データ確認・整理 10分
12回	ブランディング資料作成	デザインレイアウト	復習：データ確認・整理 10分
13回	ブランディング資料作成	デザインレイアウト	復習：データ確認・整理 10分
14回	ブランディング資料作成	デザインレイアウト	復習：データ確認・整理 10分
15回	ブランディング資料作成	途中経過発表、提出	復習：データ確認・整理 10分
16回	ブランディング資料作成	講評	復習：データ確認・整理 10分
17回	ブランディング資料作成	デザインレイアウト ブラッシュアップ	復習：データ確認・整理 10分
18回	ブランディング資料作成	デザインレイアウト ブラッシュアップ	復習：データ確認・整理 10分
19回	ブランディング資料作成	デザインレイアウト ブラッシュアップ	復習：データ確認・整理 10分
20回	ブランディング資料作成	デザインレイアウト ブラッシュアップ	復習：データ確認・整理 10分
21回	ブランディング資料作成	デザインレイアウト ブラッシュアップ	復習：データ確認・整理 10分
22回	ブランディング資料作成	デザインレイアウト ブラッシュアップ	復習：データ確認・整理 10分
23回	ブランディング資料作成	デザインレイアウト ブラッシュアップ	復習：データ確認・整理 10分
24回	ブランディング資料作成	デザインレイアウト ブラッシュアップ	復習：データ確認・整理 10分
25回	ブランディング資料作成	デザインレイアウト ブラッシュアップ	復習：データ確認・整理 10分
26回	ブランディング資料作成	デザインレイアウト ブラッシュアップ	復習：データ確認・整理 10分
27回	ブランディング資料作成	デザインレイアウト ブラッシュアップ、提出	復習：データ確認・整理 10分
28回	ブランディング資料作成	クラス発表	復習：データ確認・整理 10分
29回	ブランディング資料作成	クラス発表	復習：データ確認・整理 10分
30回	総括/学習内容のまとめとフィードバック		復習：学習内容総括 20分

◆フィードバックの方法

授業内で不明点があればその場で対応する。提出物にコメントで対応する。

◆成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
試験	—
課題	70%
検定試験結果	—
企業評価（インターシップ）	—

・授業態度、提出物の遅滞、作品完成度等を総合的に評価する。

◆教科書

必要に応じプリント(データ)配布。

◆参考文献

随時、授業内容に合わせネットから検索。

◆オフィスアワー

毎週：木曜日（10時20分～12時00分）6301教室（本校舎）

◆備考

授業内容は変更する事もある。

パターンメイキング演習Ⅱ

山木 実千代

高度アパレル専門科 3年 前期集中 必修 (演習)

◆授業の方針・概要

パターンメイキング技術検定試験対策のために行う。パターンメイキング技術検定試験 2級ガイドブックの内容を理解し、受験に対する訓練として、繰り返し理論問題の模擬試験を行う。実技試験対策としてはパターンメイキング及びトワリングを、時間を決めて模擬試験を行う。

◆到達目標 (学修成果)

パターンメイキング技術検定試験 2級全員合格を目標とする。

◆卒業認定の方針と該当授業科目の関連

パターンメイキング技術検定試験 2級を受けるため。

◆授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間(分)
1回	PM技術検定試験 2級ガイドブック読み合わせ、解説	予習：ガイドブック読み合わせ	120
2回	理論試験対策としての模擬試験 (本試験と同じ時間で行う)、回答	復習：模擬試験、解答	120
3回	〃	〃	120
4回	〃	〃	120
5回	〃	〃	120
6回	〃	〃	120
7回	実技試験対策としてパターンメイキングからトワリングまでを行う。	予習：パターン及びトワリング方法	120
8回	実技試験対策 模擬試験 (本試験と同じ時間で行う)	復習：模擬試験、解答	200
9回	〃	〃	200
10回	〃	〃	200
11回	〃	〃	200
12回	〃	〃	200
13回	〃	〃	200
14回	〃	〃	200
15回	〃	〃	200

◆フィードバックの方法

授業の中で、質問に答えてその都度、解決していく。

◆成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
試験	—
課題	—
検定試験結果	70%
企業評価 (インターシップ)	—

◆教科書

なし

◆参考文献

パターンメイキング技術検定試験 2級ガイドブック

◆オフィスアワー

月曜日 (16時00分～17時00分) 1046 教室 (本校舎 4階)

◆備考

授業内容は変更することもある。

アパレルCADⅢ

菊地 正哲

高度アパレル専門科3年 通年 必修 (実習・実技)

◆授業の方針・概要

授業担当者のパタンナーとしての実務経験とパタンナーへの技術指導の実績を活かし、アパレルCADシステムの実践的な活用法を習得することを目指す。特に企業で即戦力となるように、トータルでCADを使いこなせる応用操作の実習を行う。

◆到達目標 (学修成果)

アパレルCADシステムを使い、高度なパターンメイキングの操作と実践的なグレーディング・マーキングの操作、及び3D機能によるデジタルトワルの作成技術の習得を目標とする。

◆卒業認定の方針と該当授業科目の関連

卒業認定に必要な科目。アパレル企業においてのCADシステムをトータルにツールとして使える技術を習得する科目。

◆授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間(分)
1回	ドレスシャツ パターンメイキング①	復習:項目、機能を整理する。	20
2回	ドレスシャツ パターンメイキング②	復習:項目、機能を整理する。	20
3回	ドレスシャツ 3Dデジタルトワル作成	復習:項目、機能を整理する。	20
4回	ドレスシャツ 工業用パターン作成	復習:項目、機能を整理する。	20
5回	ドレスシャツ 仕様書作成	復習:作成資料を確認する。	20
6回	スラックス パターンメイキング①	復習:項目、機能を整理する。	20
7回	スラックス パターンメイキング②	復習:項目、機能を整理する。	20
8回	スラックス 3Dデジタルトワル作成	復習:項目、機能を整理する。	20
9回	スラックス 工業用パターン作成	復習:項目、機能を整理する。	10
10回	スラックス 仕様書作成	復習:作成資料を確認する。	20
11回	テーラードジャケット パターンメイキング①	復習:項目、機能を整理する。	20
12回	テーラードジャケット パターンメイキング②	復習:項目、機能を整理する。	20
13回	テーラードジャケット 3Dデジタルトワル作成	復習:項目、機能を整理する。	20
14回	テーラードジャケット 工業用パターン作成①	予習:裏地の展開を確認しておく。	20
15回	テーラードジャケット 工業用パターン作成②	予習:裏地の展開を確認しておく。	10
16回	テーラードジャケット 仕様書作成	復習:作成資料を確認する。	20
17回	クリエイティブ3Dモデリング①	復習:項目、機能を整理する。	20
18回	クリエイティブ3Dモデリング②	復習:項目、機能を整理する。	20
19回	クリエイティブ3Dモデリング③	復習:項目、機能を整理する。	20
20回	クリエイティブ3Dモデリング④	復習:項目、機能を整理する。	20
21回	クリエイティブ3Dモデリング⑤	復習:項目、機能を整理する。	20
22回	クリエイティブ3Dモデリング⑥	復習:項目、機能を整理する。	20
23回	クリエイティブ3Dモデリング⑦	復習:項目、機能を整理する。	20
24回	プレゼンテーション	復習:作成資料を確認する。	10
25回	卒業制作CAD入力①	復習:項目、機能を整理する。	20
26回	卒業制作CAD入力②	復習:項目、機能を整理する。	20
27回	グレーディング実習①	復習:項目、機能を整理する。	30
28回	グレーディング実習②	復習:作成資料を確認する。	20
29回	マーキング実習①	復習:項目、機能を整理する。	20
30回	マーキング実習②	復習:作成資料を確認する。	20

◆フィードバックの方法

授業の中で、質問に答えてその都度、解決していく

◆成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	20%
試験	—
課題	80%
検定試験結果	—
企業評価(インターシップ)	—

◆教科書

PATTERN MAKING I・II・III・MEN'S WEAR 学校法人 杉野学園

◆参考文献

CREA COMPO II オペレーションマニュアル Toray Advanced Computer Solution INC
パターンメイキング技術検定試験ガイドブック 財団法人日本ファッション教育振興協会

◆オフィスアワー

金曜日 (16時00分～17時00分) 6101教室 (第六校舎1F CAD室)

◆備考

状況により内容変更有り。

商品企画

赤川 順子

高度アパレル専門科3年/アパレルデザイン科 必修 (講義/実習・実技)

◆授業の方針・概要

ファッションデザイナー、ディレクターとしての企業実務経験者による授業。マーケティング視点を持ち、トレンドとニーズを的確に捉え、研究対象とするブランドへワンピース1体、もしくはトップ&ボトムの上セットを企画・デザイン。商品サンプルとプレゼンテーション資料を作成し発表する。

◆到達目標 (学修成果)

ブランド特長を捉え、提供価値をデザインやサンプルに表現できる力を修得する。
企画立案した内容について、魅力が伝わるプレゼンテーションができることを目指す。

◆卒業認定の方針と該当授業科目の関連

卒業時に必要な科目。

◆授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間(分)
1回	商品企画のプロセス及びブランド研究(コンセプト、ターゲット、提供価値の紐解き)	予習; マーケットリサーチ	45
2回	マーケットリサーチ、提案先ブランド決定	復習: マーケットリサーチ	45
3回	提案先ブランドの特長整理、デザイン考案	復習: 企画立案内容を考える	30
4回	デザイン考案	復習: デザイン考案	30
5回	デザイン・素材・主要寸法・ディテールの確認	予習: 素材リサーチ	45
6回	パターン作成	復習: パターン作成	60
7回	パターン、トワル作成	復習: トワル作成	60
8回	トワル作成	復習: トワル、パターン作成	60
9回	トワル、ディテール仕様の確認	予習: パターン作成	60
10回	商品仕様書作成、提案書作成	復習: 提案資料ブラッシュアップ	30
11回	裁断、サンプル作成	復習: サンプル作成	60
12回	サンプル作成	復習: サンプル作成	60
13回	サンプル作成、ビジュアル撮影	予習: コーディネートプランニング	60
14回	提案資料作成・プレゼン準備	復習: 提案資料ブラッシュアップ	60
15回	審査会	復習: 課題を振り返る	20

◆フィードバックの方法

デザイン、トワル、プレゼン資料などの課題作成にはアドバイスを随時行う。
作成したサンプル、プレゼンテーションに対する講評を行う。

◆成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
試験	—
課題	70%
検定試験結果	—
企業計画(インターシップ)	—

◆教科書

なし

◆参考文献

なし

◆オフィスアワー

授業終了後、質問等対応する。

◆備考

審査会は15回終了後に別途日にちを設け実施することもある。
日程及び授業内容は変更することもある。

特別講義Ⅲ

渡邊 千佳子

高度アパレル専門科3年 通年 必修（講義）

◆授業の方針・概要

年間を通して社会の現場で活躍するスペシャリストを招き、アパレル業界の現状からトレンド、企画立案、技術的な部分までの講義を聞き、常に最新の技術や知識を学ぶことを目標とする。知識向上と業界人が考えるもの作りの考え方を習得する。

◆到達目標（学修成果）

服飾造形Ⅲの授業と連携しながら、アパレル業界の現場を実感できるようにし、自己の知識と就職活動に対する意識の向上を目指す。

◆卒業認定の方針と該当授業科目の関連

卒業のために必要な科目。アパレル業界の現場を知ることは、専門的な部分での知識を養い、就職活動にも役立つ。

◆授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間(分)
	<ul style="list-style-type: none"> ・ QUOTATION ・ 商品企画について ・ コスト計算について ・ 現代ファッションについて ・ ミリタリーについて ・ 米マーケティングについて ・ ニューヨークコレクションについて ・ 中国マーケットについて 	講師により異なる 準備等や時間は事前に知らせる	

◆フィードバックの方法

レポート返却時に講評をする。

◆成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
試験	-
課題	70%
検定試験結果	-
企業評価（インターンシップ）	

◆教科書

必要に応じて資料を配布

◆参考文献

必要に応じて資料を配布

◆オフィスアワー

授業終了後、質問等に対応する。

◆備考

授業内容は変更することもある

インターンシップ

仙木 沙紀

高度アパレル専門科 3年 必修 (実習・実技)

◆授業の方針・概要

インターンシップ（就労体験）を通して、専門分野に関連する実務体験を企業で体験・学修します。実務能力を高め、企業で必要とされる能力を感じ取ることで、卒業後の就職に対する意欲と学内での学修をより深く理解することができる。

◆到達目標（学修成果）

学内授業では得られない就労体験を行うことで将来の就職に生かせる理解と能力を身につけることを目標とする。

◆卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は、専門選択科目の卒業要件科目である。将来の就職に向けて仕事を理解するための選択科目。

◆授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回	オリエンテーション：研修の心得とマナー等について ・企業人事の講義「企業が望むインターンシップ」	予習：企業について研究する。	90分
2回	面談：研修先企業や職種について面談	復習：研修先について検討する。	60分
3回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く。	30分
4回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く。	30分
5回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く。	30分
6回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く。	30分
7回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く。	30分
8回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く。	30分
9回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く。	30分
10回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く。	30分
11回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く。	30分
12回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く。	30分
13回	企業研修：企業の現場で与えられた課題に取り組む	復習：研修日誌を書く。	30分
14回	事後報告：報告書、研修日誌のまとめ	復習：研修日誌を書き、報告書をまとめる。	90分
15回	事後報告：報告書、研修日誌の提出と報告会での発表（学修成果と得られた技術を含む）および講評を行う。	復習：報告会での講評を振り返る。	30分

◆フィードバックの方法

研修日誌による毎日の提出内容の企業研修先による講評、最終報告書提出の講評、報告会による講評を当日その都度フィードバックする。

◆成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	10%
試験	—
課題	30%
検定試験結果	—
企業評価（インターンシップ）	60%

◆教科書

なし

◆参考文献

なし

◆オフィスアワー

授業初日に伝達。就職部

◆備考

実務時期、期間：2年生または3年生で8日から10日相当（評価は3年次）

研修内容、地域：企業により異なる。地域は主に首都圏および各県。

実施期間等は変更になる事もある

心理学

手島 陽介

高度アパレル専門科3年 年間8回 必修(講義)

◆授業の方針・概要

心理学は、人の行動や心を科学的に研究する学問である。本講義では、基礎心理学の分野を中心に、心理学の全体がつかめるよう幅広い領域について、概説する。「心」とは何か、「心理学」とはどのような学問か、グループ学習やディスカッションなど体験的な学習を通して、自ら学び、深めていくことを目指していく。また、服飾業界やビジネス場面において心理学知見がどのように活用されているかにも触れていく。

◆到達目標(学修成果)

心理学の領域における概念を理解し知識を身につけるとともに、心理学的な見方ができるようになることが到達目標である。

◆卒業認定の方針と該当授業科目の関連

本科目は、教養科目の必須科目で卒業要件科目である。心理学的知見を身につけ、社会人としての教養・基礎力を培います。

◆授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間(分)
1回	【心とは何か】-心理学の定義と研究分野、心理学は学ぶ人々のどこに役立つのか、意識と無意識の世界、心理学の歴史-	予習:心理学についてのイメージ、何を学びたいかを考えてくる。	15分
2回	【性格の心理】-個人差としての性格を考える、遺伝と環境の関係、アイデンティティ(自分らしさ)とは何か-	復習:パーソナリティテストの結果と授業内容から、「自我」について振り返る	30分
3回	【コミュニケーションの心理①】-人間関係づくり、円滑なコミュニケーションを行うには-	復習:自身の普段取っているコミュニケーションのパターンを振り返る	30分
4回	【コミュニケーションの心理②】-非言語的コミュニケーションから自己表現について考える-	復習:非言語的コミュニケーションを意識し他者と会話をしてみる	30分
5回	【思考・創造性の心理】-「考える」とは何か、問題解決能力のプロセス、創造性の要因について学ぶ-	復習:創造的な発想のプロセスを復習し、課題に生かしてみる	60分
6回	【色彩の心理学と服飾】-色と心の関係、人間の五感の機能、視覚機能の不思議について、服飾分野との関連性について考える-	復習:インテリアや服など周りの色を観察し、心理的な影響について考察する	30分
7回	【心と身体の関係】-精神的健康とは何か、ストレスとストレスナーの関係、睡眠について、心と身体のバランスについて考える- 【小テスト】	予習:現在の自分の健康状態や睡眠について考えてくる	30分
8回	【まとめ】 本授業のまとめと、小テストのフィードバックを行う	復習:返却された課題、テストを振り返り、復習する。	60分

◆フィードバックの方法

8回目に小テストを返却し解説を行い、本授業のまとめをする。

◆成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	20%
試験	50%
課題	30%
検定試験結果	-
企業評価(インターシップ)	-

◆教科書

なし(毎回プリント、資料を配布する。)

◆参考文献

蓮見将敏ほか(編) 『人間関係の心理学』 福村出版
二宮克美ほか 『ベーシック心理学』 医歯薬出版株式会社

◆オフィスアワー

前期:水曜日(12:00-15:00)研究室 後期:水曜日(12:00-15:00)研究室
【連絡研究室】心理学研究室(研究棟1階 6015)

◆備考

毎時間、プリントを準備し授業に出席をしてください。

ファッション実用フランス語

福本 しのぶ

高度アパレル専門科3年 前期 必修(講義) / アパレル技術科3年・アパレルデザイン科 前期 選択(講義)

◆授業の方針・概要

ボンジュール!とフランス語の挨拶から始まり、ファッション大国フランスに行って会話を楽しめる程度になりませんか? 簡単な会話を学びながら、フランス語の特徴を把握し、基本的なファッション用語を身につけ、また、映像などを見ながら、フランス・ファッション、文化に触れ、「聞く」「話す」「読む」「書く」を身につけます。可能であればフランス人と会話して、学んだことを実践します。

◆到達目標(学修成果)

フランス旅行する時に役立つ表現を覚え使えるようになり、辞書を使って、短い文章の理解や、フランス語圏の通販サイトの最新WEB情報を検索できることを目標とする。

◆卒業認定の方針と該当授業科目の関連

選択の場合は卒業要件ではないが、現在フランスや日本で使用されている服飾用語を分析、つなぎ合わせていくと、服飾文化の源流の一つに辿り着き、大局的に服飾文化を見直す糸口が見つかる。

◆授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間(分)
1回	フランスを知る フランスと日本の関わり合い/違い 筆記体の読み/書き	身の回りのフランス語探し、発音確認	10
2回	アルファベ発音と音節/法則 身の回りのフランス語/フランス語の特徴について	発音確認 講義メモ整理	20
3回	WEB 辞書の使い方 挨拶、数字、曜日	講義メモ整理、WEB 辞書を使ってみる	30
4回	パリジェンヌのモード(ビデオ) 基本的なファッション用語 色、形、物の位置	講義メモ整理、発音練習	30
5回	会話1 自己紹介、家族を紹介する 国籍/職業をたずねる	講義メモ整理、発音練習	30
6回	フランスのファッション学校について フランスファッション 移民による多様性	講義メモ整理、発音練習	30
7回	会話2 時刻をたずねる 時の表現(過去/未来)	講義メモ整理、発音練習 会話練習	30
8回	フランスのお金 / 生活 パリのメトロ/トラム	講義メモ整理、発音練習	30
9回	会話3 行き先、交通手段を伝える	講義メモ整理、発音練習 会話練習	30
10回	カフェやレストランで注文する フランスのテーブルマナー	講義メモ整理、発音練習	30
11回	会話4 可能性について話す	講義メモ整理、発音練習	30
12回	会話5 日常生活について話す	講義メモ整理、発音練習 ファッション用語	30
13回	会話6 過去について話す	講義メモ整理、発音練習	30
14回	映画「アメリ」のフランスらしさを見て/聞いて フランスのことわざ	講義メモ整理、発音練習	30
15回	映画「アメリ」のフランスらしさを見て/聞いて まとめ	全ての講義メモを整理しファイリングしておく	30

◆フィードバックの方法

毎授業にて講義メモを出すので、3回に1度の割合でチェックする。

◆成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
試験	—
課題	70%
検定試験結果	—
企業計画(インターシップ)	—

会話ができることを重視するので、積極的に声を出す。

◆教科書

教科書なし。毎回講義メモ配布。 仏和辞書を購入希望の場合は要相談。

◆参考文献

大学図書館のフランス語資料、フランス語サイト。

◆オフィスアワー

前期：金曜日 授業前、授業終了後、教室にて質問など対応。

◆備考

衣装博物館の展示内容、フランス人ゲストの都合などにより、授業内容は変更することもある。希望者には、実用フランス語検定試験5級~3級の受検指導を行う。

服飾造形・実習Ⅲ（ブランディングA）

釜澤 直恵

高度アパレル専門科3年 通年 必修（演習／実習・実技）

◆授業の方針・概要

ブランディングに欠かせないデジタルマーケティングの概要を知り、その中の1つであるインスタグラムマーケティングを実践できるようにする。

◆到達目標（学修成果）

受講する学生自身がブランディングに必要な専門性のある実践的なインスタグラムを運用できるようになる。

◆卒業認定の方針と該当授業科目の関連

卒業のために必要な科目となる。1、2年で学んだ基礎知識やテクニックを具現化してブランディングし、それを認知拡大につなげる具体的なツールとして、インスタグラム運用の基礎力を身につける。

◆授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間(分)
1回 4/11	デジタルマーケティングについて		
2回 4/18	なぜインスタグラムがプロモーションになるのか(フォロワー集めはなんのため?)		
3回 4/25	ペルソナの設定・仮説の設定を学ぶ/リサーチ (実技)	どんなアカウントにしたいかイメージを持っておく	
4回 5/2	プロフィール構築/リサーチ・プロフィール制作 (実技)	授業で完了しない場合はプロフィール制作まで終了させておく	
5回 5/9	企画・構成を考える/計画表の作成・コンテンツ制作 (実践)	次の授業まで3投稿を完了	45分～
6回 5/16	フォロワーを増やす原理を知る(アクションとハッシュタグ攻略)/コンテンツ制作・ハッシュタグリサーチ (実技)	次の授業まで3投稿を完了	45分～
7回 5/23	エンゲージメントを学ぶ(インサイトの見方を学ぶ)/インサイト分析・コンテンツ制作 (実技)	次の授業まで3投稿を完了	45分～
8回 5/30	インフルエンサーによるテクニック講座①/コンテンツ作成・投稿 (実技)	次の授業まで3投稿を完了	45分～
9回 6/6	インフルエンサーによるテクニック講座②/コンテンツ作成・投稿 (実技)	次の授業まで3投稿を完了	45分～
10回 6/13	手段・目標・目的を明確にした運用方法を学ぶ/今までの振り返り		

◆フィードバックの方法

投稿されたインスタグラム内容を授業中に確認

◆成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
試験	—
課題	70%
検定試験結果	—
企業計画（インターシップ）	—

◆教科書

無し

◆参考文献

無し

◆オフィスアワー

授業終了後、12時00分～12時20分 6301教室（第6校舎3階）

◆備考

授業内容は変更することもある

服飾造形・実習Ⅲ（ブランディングB）

深谷 玲人

高度アパレル専門科3年 通年 必修（演習／実習・実技）

◆授業の方針・概要

事業企画を通じ、自己実現とビジネスの両立の方法を考えることで
アパレル業界の未来を描き、活躍できる起業や就活に有利な人材を育成する

◆到達目標（学修成果）

プレゼンテーション資料の作成と、企画のプレゼンテーションができるようになる

◆卒業認定の方針と該当授業科目の関連

終了制作発表会の品質向上

◆授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間 （分）
1回	アパレルでなぜプレゼンテーションが必要なのか？	発表会の振り返り	90
2回	アパレル業界の現実と現状と、それを踏まえたキャリア論	自己実現を考える	90
3回	まず MVP から始めよう	原体験の自問自答	90
4回	失敗を科学する	販売経験	90
5回	プレゼンテーションをしてみよう	企画構成立案	90
6回	アパレルセールス戦略	販売戦略立案	90
7回	初期のマーケティング戦略	マーケ戦略立案	90
8回	アパレルものつくりの実態	生産方法の決定	90
9回	ファストファッションとサステナビリティ	製造の善悪を考える	90
10回	MD 戦略分解 vol1	MD 戦略立案	90
11回	MD 戦略分解 vol2	MD 戦略立案	90
12回	MD 戦略分解 vol3	MD 戦略立案	90
13回	デザインとクリエイティビティについて	デザイン戦略立案	90
14回	近年のラグジュアリーについて	原点思考する	90
15回	アパレル歴史と未来について	未来志向する	90
16回	ブランド戦略論	ブランド戦略を考える	90
17回	ビジネスモデルを作ってみよう	リーンキャンパス	90
18回	プレゼンテーションワークとフィードバック	プレゼン準備	90
19回	プレゼンテーションワークとフィードバック	プレゼン準備	90
20回	プレゼンテーションワークとフィードバック	プレゼン準備	90

◆フィードバックの方法

プレゼンテーション用資料の作成とプレゼンの発表を 18-20 回の授業内で実施
授業内で内容のフィードバックを実施

◆成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
試験	—
課題	70%
検定試験結果	—
企業計画（インターシップ）	—

◆教科書

なし

◆参考文献

- ・ 起業の科学 スタートアップサイエンス/田所 雅之
- ・ 逆説のスタートアップ思考/馬田 隆明

◆オフィスアワー

- ・ 授業終了後、質問など対応いたします
- ・ SNS などでの質問など対応いたします

◆備考

- ・ 授業内容及び順番は変更する場合があります

服飾造形・実習Ⅲ（量産実習）

菊地 正哲

高度アパレル専門科 3年 通年 必修（演習／実習・実技）

◆授業の方針・概要

授業担当者のモデリストとしての経験と実績を活かし、1年次2年次で学んできた造形に対する知識やテクニックを発展させて、量産を意識した作品の制作を行う。テーマ、コンセプトを考えることからはじめ、それに沿ったデザインと素材のマッチング、ドレーピング、工業用パターン、量産方式の縫製を学んでいく。次年度に控えた就職活動を意識した服作りを心がける。

◆到達目標（学修成果）

オリジナリティを追求しつつ、実際の商品になり得る付加価値の高い服を作る。

◆卒業認定の方針と該当授業科目の関連

卒業のために必要な科目。付加価値のある作品をテーマ、コンセプトに基づき制作することで、将来、アパレル企業等で働く上で必要な技術力と商品力を身につける。

◆授業計画

回数	授業内容		準備学修	
			具体的内容(予習・復習等)	必要時間(分)
1週	オリジナリティのあるデザイン2体 テーマ・コンセプト・デザイン決定	パンツ パターンメイキング	予習：デザインを考える 復習：進められるところまで進めておく	30
2週	パターンメイキング	〃	予習：パンツの作図法を確認しておく 復習：進められるところまで進めておく	30
3週	〃	〃	復習：パターンの見直し 復習：進められるところまで進めておく	30
4週	トワル制作・仮縫い・素材の決定	〃	予習：生地を探す 復習：出来上がりの確認	30
5週	工業用パターン作成	〃	予習：デザインパターンの確認 復習：進められるところまで進めておく	60
6週	修正・裁断	パンツ 工程分析 確認 縫製準備	予習：生地の準備と整理をしておく 復習：進められるところまで進めておく	30
7週	縫製	パンツ 実物制作	予習：縫製準備 復習：進められるところまで進めておく	60
8週	〃	〃	予習：必要な材料を揃える 復習：進められるところまで進めておく	60
9週	〃	〃	予習：できるところまで縫う 復習：出来上がった形の整理	60
10週	仕上げ・仕様書の作成	〃	予習：仕様書準備 予習：最終仕上げ	120
11週	フィッティング（試着検討会）	〃	予習：フィッティング準備	30
12週	ジャケットのデザイン決定	ジャケット パターンメイキング	予習：デザインを考える 予習：進められるところまで進めておく	30
13週	ドレーピング	〃	予習：地直しをしておく 復習：進められるところまで進めておく	30
14週	〃	〃	復習：トワルの見直し 復習：進められるところまで進めておく	30
15週	〃	〃	復習：トワルの見直し 復習：進められるところまで進めておく	30
16週	トワル制作・仮縫い・素材の決定	〃	予習：生地を探す 復習：出来上がりの確認	30
17週	工業用パターン作成	〃	予習：デザインパターンの確認 復習：進められるところまで進めておく	60
18週	〃	〃	復習：パターンの見直し 復習：進められるところまで進めておく	30
19週	〃	〃	復習：パターンの見直し 復習：進められるところまで進めておく	30
20週	修正・裁断	ジャケット 工程分析 確認 縫製準備	予習：生地の準備と整理をしておく 復習：進められるところまで進めておく	30
21週	〃	〃	予習：パーツの確認 復習：進められるところまで進めておく	30
22週	縫製	ジャケット 実物制作	予習：縫製準備 復習：進められるところまで進めておく	60
23週	〃	〃	予習：できるところまで縫う 復習：出来上がりの確認	60
24週	〃	〃	予習：できるところまで縫う 復習：出来上がりの確認	60
25週	〃	〃	予習：できるところまで縫う 復習：出来上がりの確認	60
26週	〃	〃	予習：できるところまで縫う 復習：出来上がりの確認	60

27 週	〃	予習：できるところまで縫う 復習：出来上がりの確認	60
28 週	〃	予習：できるところまで縫う 復習：仕上げまで縫う	60
29 週	仕上げ・仕様書の作成	予習：仕様書準備 予習：最終仕上げ	120
30 週	フィッティング（試着検討会）	予習：フィッティング準備	30

◆フィードバックの方法

課題提出物返却時に講評をする。

◆成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
試験	—
課題	70%
検定試験結果	—
企業評価（インターシップ）	—

◆教科書

必要に応じて資料を配布。

◆参考文献

ドレメ式原型、PATTERN MAKING I II、SEWING I II IIIIV、PATTERNBOOK

◆オフィスアワー

毎週：月曜日（16時00分～17時00分）1046教室（本校舎4階）

◆備考

授業内容は変更することもある。